

社会福祉施設長 様

社会福祉法人大阪府社会福祉協議会  
大阪福祉人材支援センター  
所 長 徳丸祥子  
<公 印 略>



## 令和元年度 栄養士・調理師研修会のご案内 (保育所、児童福祉施設等)

平素は、本センターの運営につきまして、日頃から格別のご協力を賜り厚くお礼申し上げます。  
さて、福祉施設の栄養士・調理師を対象とした研修会を下記のとおり開催させていただくことになりました。  
お忙しいところ誠に恐縮でございますが、該当職員の参加につきましてご高配賜りますようお願い申し上げます。

# 「食物アレルギーのある子もない子も一緒に食べよう！」 ～スキンケアで食アレが予防できる！？～

- 1 目 的 乳児期のスキンケアが、その後のアレルギーの予後に影響があることをご存知でしょうか。食物アレルギーは、治癒するまで完全除去が主流であった時代から、食べて治す時代へと変わりつつあります。そんな中、“一緒に食べる”機会を増やすために、栄養士や調理師に何ができるのか、大阪乳児院の取組みを基に、食物アレルギー児のケアについて考える機会を設けたいと思います。
- 2 日 程 令和元年 8月27日(火) 14:00～17:00 (受付13:30～)  
令和元年 9月4日(水) 14:00～17:00 (受付13:30～)  
★今年度も年1回→2回に受講チャンスが増えました！  
両日とも  
同じ内容
- 3 講 師 井島 智美 氏 ( 管理栄養士・小児アレルギーエデュケーター  
大阪乳児院 )
- 4 受講対象者 社会福祉施設 (保育所、児童福祉施設等)の栄養士ならびに調理師
- 5 受講定員 両日とも90名  
(先着順での受付となります。定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。)
- 6 参加費 おひとり 3,000円 (当日受付で徴収させていただきます。)
- 7 主 催 社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会 大阪福祉人材支援センター 研修グループ  
共 催 公益財団法人 日本アレルギー協会 関西支部
- 8 申込み手続 & 問い合わせ ※別紙「参加申込書」に必要事項を記入のうえ、8月16日(金)までにFAXにて  
お申し込みください。  
※受講決定通知の送付はいたしませんのでご了承ください。定員を超えた場合のみ、お断りのご連絡させていただきます。

FAX: 06-6764-5149 電 話: 06-6762-9035 (金・赤松)

※ホール内の冷房等に関しては、微調整が困難なため上着等をご持参ください。

8 会 場 大阪社会福祉指導センター  
 5階 ホール  
 〒542-0065  
 (大阪市中央区中寺1丁目1番54号)  
 地下鉄谷町線「谷町六丁目」③出口  
 南へ徒歩7分  
 (谷町七丁目交差点より右折50m)



<参加申込み 送付先> 大阪福祉人材支援センター 研修グループ **FAX 06-6764-5149**

令和元年度 栄養士・調理師研修会参加申込書 (保育所・児童福祉施設等)

令和元年 月 日

大阪福祉人材支援センター 研修グループ 所長 宛

ふりがな 法人名 ふりがな 施設名:

〒 住 所 施設種別 (保育・児童・その他 ( ))

電 話 F A X 申込担当者 ( )

ふりがな		8月27日 (火)	9月4日 (水)
氏 名			
職 種 (○を)	・管理栄養士/栄養士 ・保育士 ・調理師 ・その他 ( )	<b>希望日時: (いずれかに○をおつけください)</b> ※同内容を2日間、実施しますので、 どちらかを選択してください。	
勤続年数	年		

**【事前アンケート】**

1. アレルギー児も他児と一緒に食べさせてあげたいと強く思うのはどんな時ですか (複数回答可)  
 誕生日  行事食  遠足などのイベント  お祭り  その他 ( )

2. 保育所・福祉施設の栄養士・調理師として、アレルギー食のことで、知りたいこと、困っていることがあればご記入ください。

**【以下のテーマでグループワークを行いますので、考えておいてください。】**

- 一緒に食べるために工夫していることがあれば教えてください!
- 他児との関わりの中で、食物アレルギーを発症してしまった事例があれば教えてください!  
 例) 他児の食事に手を伸ばしてしまった、服に付着していたアレンゲンにじゃれていて触れてしまった、等
- 貴施設のおすすめアレルギー対応レシピを教えてください!

※本申込書に記載された事項につきましては、個人情報保護等の規定に則し適正な管理を行い、本研修実施に関する業務以外に使用することはいたしません。 ※2名以上希望の施設は、この用紙をコピーしてご利用ください。